異国物語

862
1

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『異国物語』　請求記号 862-1

国立国会図書館　　タイトル『異国物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

四九番

林

土佐国
萬治高

異國物語

全

徹島 林春勝
鵬斎 馬場維貞

77.

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(77)

○流人長濱泰行 今御廣
御陸目附被仰渡部屋四畳
壬子ノ年ゟ七月長濱表へ
弐畳敷ニ附属蒲山壽 鮮明
ゟ受ける仏と記す

宇佐浦縣船
右五先ニ流さる 時寛八十六歳
船頭 傳藏 年四十九才
水主 重助 年不知
同 五九郎 年廿六才
同 寅右エ門 年三十八才
同 百次郎 年二十六才

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1
ガラス使用

右方次郎流さるゝ時寛八十壱年分
親の手ふ逢ひかゝさゝ祖の者ふく中須ゟり宇佐
浦へ来ゟ老ゝゟ物ともゟ
○右ゝ物ども今都ゟ来子年ゟ十三ヶ年ゟ前
漂ゝ為宇佐浦を出船ゝ
利七日の日ふ亘ゝ朝風ゟ
ゝ方へ流され檜四枝ゟ来ゝ折損ゝ
漂流手十日風雨まゟ
羅雞ゟ斗寄ゝ十二日暁ゟ
といふ島海上浮むもゟんて船頭傳蔵ゟ
海手浮ゟもゟ迫ゟ
ゟ梨見度ゟ所小忽ゟ

ゟ谷力ゟ
ゟ渡ゝ
ゟ歳石屋風ゟ
船の為べき所ゟ
ゟらゝ寄ゟ
地ゝ小破損ゟ
降ゝ上り体島ゟ
○一各飢ゝ
○一一班食物寄ゝ
ゟ推量ゟ
苔の粉ゟ
ゟ
ゟ

海辺より水汲みきたれを食す
○一水甚すくなくて難渋着の砂を手桶
にて濾過とり澄ますを捨ひとつ岩より
水垂とり置飯むすを水もちて日和をまち
ば絶ゆ四五小夜を重ねんの食の今つきわが
を捨ぎりなきものむ事
小夜もすくもすくれ
○一蔵のまわりに小茅ふき仰ぐる
あり皆を帝の住家とぞ
○一島こ廻て里通ふ茅ふき
ど芦茅ノみを所々
ようたんぐるまて井戸有皆
飯くて大ぬか加ぬるぐるまて又側ま墓のぬ
もの二ツ
○一日月中旬ぶいるまでバトヲクロウ島葦たちく
切ぜ絶ゆ食物ありて
の類を採ま食ふ茅ぶ
ぬ予ぜ育ぬるみいぬるて
又ハ茅ぬるを追落
食ぬるぬぬ
○一壬月三日ぬの比を一日飢ぬ
ぶも重動ハ病気ま
ありを海苔のみをぬ
着物ぬ

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1
ガラス使用

○一菊次郎八彩飢ふ及ふとも
もあて元気ハ益さうず
○二月音信のころをおう
ハ夜船を指り船
揚く指くたし大船
豆のでき少松をおろし
富士の茅次郎を奈
引入指り居る由ハ仕
ハ傳蔵重助も又
東洋の亜墨利加国の
頭ハアイツヘルトいふ端船
邪利

○一鯨船の北所ゟ奇り
の湊の辺ゟ鯣乃数の魚
とゟ是をとらし魚ゟ
りの来ハ鯨ゟ
ものゟ

○一洋の中ゟ鯨を
特八艘乃端船ハ
追寄し関と皮ゟの
き双物をいま波ハ
くおき蔵ゟ
関ハ
ものゟ

○一鯨船の北所ゟ奇り
の湊の辺ゟ鯣乃数の魚
とゟ是をとらし魚ゟ
りの来ハ鯨ゟ
ものゟ

○一洋の中ゟ鯨を
特八艘乃端船ハ
追寄し関と皮ゟの
き双物をいま波ハ
くおき蔵ゟ
関ハ
ものゟ

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

○一鯨の油にて灯を照すを聞きて新乃代油にて油絞りの由のみにて燈乃めも抱かず着し諸国の着船す異国人ハウ

○一嘉永壬戌月ウハツ国小着船ノコトヲ見テハツト云ニ似タリ

○一数の国より日本人持渡りしをもつて貴代物なりしが日本も殊の外貴国ありと称美するほどの事なり

○一ハツ国の大サ大概日本より四國七嶋程の国近年亜

墨利加国より人道行き交易の津となる兵庫の津へ諸国の船も入津し日本のお切もとも地ならず右し鯨船此国へ着置所にて夕ヲ千ヨテトヤ役人国元へ届置小船鯨船にも萬事命セツセトいふ所小船にて是ハアメリカ国中船頭の住所なる地ありて百夕ヲ千ヨテの世話を成居る故に彼の者許来判と竈永通寶を出し国中といふ仕形も四人の都とも出平伏れバやがて日本人とも交易する様なり

○一右之条刺と宮ノ下通宮ノ下
者松前流され時松前
○一此度も日本絶倖国の人ハ
遣宇須浦のごとくハサシ
出し長崎御奉行ニ
おゐて
○一四人の者タツタ千ヨテがまゐ
まゐりよりまでよく荷持日雇おゐも
○一八ツ国乃時候日本の九月時分のごとし
中羅紗一枚着し両刺ハ
○一彼の国ハアメリカ國の教

小日本の元日乃ごとくに家くに
祭祀をなし是ハ世界
翌日の七日目小神を祭るよう
つ食物を日本田芋其芋の
也それを小麦ハ
積まれども
ホの奥ハ日本ヘ
○一此浦へ来る大船
船ハ測量の
節薪水の
も容易おゐ

二十四日午人強の和日午人強ぎうとて
てのきれ形ら由一休日本人を組氣あるものと
彼の西あるもの嗚もるよう彼の国ハ寛仁のこと
なりぼ只今少そも大か開けー西ふて
まく他国を奪ひとるあどうい事ハ
なしうあし
○一他国イキリス人女し拐奪更暮ら地
とて
○一家居いおく屋根を
葺ーが二十年ぬ安アメリカ国を
開くとき数てう今も板又ハ石を葺
板屋根の家多ー古乃屋根を葺
漆ぬ大石ぬう板おとく屋げる事。
葺ーとい
○一宿ハ戸棚のごく補理
ぬて人丹見ぬるの沢婦
○一諸屋具も場のふ多し
鍋なれ板子ら刀豆の實を
炙ものを用甲
○一雨の日ハ盃ぬ傷多ふ
かぶ日和あを蒜めて
うぶのさうしろは穴何
折ある髪ぬ出ー傘や
○一髪ハ日午乃梳髪奉理

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1
ガラス使用

おくなよ髪ゆる天神モリヒトトリ
借海あり西彩紅あぐハ石田
○一上品うく人を常小鉄砲紙
本革刀のごとし上下とも杖
紫檀黒檀の類ありて造るあり
○一時許告る小七港口あり六貫目位の大船
をもてくる也
○一七鳥一玉あり死ぬ時ハ指ふ
其の古蔵のごとく家
あるなりまた埋む長
かぐる事日本小船より老少搭
ふくハ桜の船四五品也艾義
なり櫛

七日午前より卯板隅の方
岸のあるより別して小家
○一傳蔵始メ三人ハ荷持畑仰り日雇
をもて重助ハ商売等積気
ようし芋ハ地ふ日本の稲ハ植
るごとく蓑ハ如く植れど根
陪義ハ及ばずもろハ三人
りしあり百性業をもあり
○一右三人彼国の役人小姓帰国
より十人役人小姓乗船
小役を乞帰船

右く彼國ゟ止る此世界の事
しく此まで相ましりもの
ゟ〳〵筆を執〳〵まゐ心の
まゐられを〳〵逃げ去
ゟ〳〵再ひ雛舟の
くハ〻國ゟ着舟の後〻
めもし家ゟ手智學問
八周使抔して師匠の
教の秘書物語る
ゟ〳〵ハ自ゟ働きゟ〳〵
〻イ

〻へりゟ食物の世話ゟ
王ゟ師匠ゟ學官ゟ
六ヶ年間の事
〇一ツカ國ノ政事大概日本ゟ同
ケ條の法令有く
〇一王ゟ七人あり北亞墨利加國三十六ヶ國ゟ
分る時條ゟ日本ゟ四時ゟ
ゟハ〻國ゟ同〳〵王ハ國中の賢人ゟ撰び
出し四年持〳〵ゟ賢人ゟハ年
ゟ〳〵ハケ年ゟ持〳〵ゟ賢人ゟ撰集等ハ一
ゟ〳〵

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1
ガラス使用

○一アメリカ國王の居所ハ平地屋舗建
なり大谷等ハ大きな城
者数多ありと雖一體小王の
大きなる鏡ハ各各つく
鏡の中ハ勝つく皆ハ又
○一度王と称る人隠居をいわゆる
極安樂なりとぞ官人等ハ
権柄ヲ皆捕ると也しかあ
衣服の色ハ分別
とも学問次第ニ挙用
人を官人ニ
ハ

○一人物等ハ篤實寛仁ニシテ
次人教ユルニ益ナキ事ヲ
過ルマデ教ユ教ユルニ益ナキ等ノ
事ヲ多ク古稀ノ
○一アメリカ国今最中開ケ
学術モ進ミ
○一婚礼ノ式ハ組ミテ日ヲ
ノベ或ハ即日ニ其
椅子ナドヲ掌ル
八告ゲ来ル時ハ夫婦
多淫ナルヲ以テ男女ノ別
○一妻ノ粧ヒ西子油塗ヲ
ヲ用ノミソヲ有リ古ノ
ホルモヲバ砕キ人体ヲ
ヨク洗ノ石ハ日ヤ小比ヲ
ルヲ
○一夫婦ノ情愛至テ
神薬
ノ者飢ル事ヲ
ルヲ
○一アメリカ国ノ都中ヨリ
ヲ又ハ郊郎ヘ
又ハ樽ヲ道具ノ

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1
ガラス使用

[illegible]

○一屠蘇[illegible]の[illegible]

○一羅紗[illegible]織を[illegible]

○一[illegible]

○一[illegible]

○一文武の[illegible]

○一[illegible]

○一[illegible]

○一

○一 大本ヲ五圍板ノ
○一 鳥獣ヲ大概日本ヨリ
ヨリ稍ヲ
○一 万次郎義アイツヘルホ迄ひま
艦船ノ事ヨリ世界ノ廻
日本ノ沖ヲモ四廻メクリ
加ヘ上陸ノ志ナカレトモ
日本ノ商船ヲ牽ハシヨ
有艦奥六百年夜ヨリ八帰
ヲモ夢ノ時ハ氷海
船ホ錨ヲ付ケ氷ヲ別
氷ノ山ガ海中ニ
ハ獨立
ハ慶ニ有
又田ヲ招キテ眞
ゲス洋ノ中ニ
横浜ヲ
又ハ金國ヨ
ケ海ヘ
又
通船ヲ
ハ

宝ト氣ヲ付ヨキ由ヲ
○一 万次郎アメリカフ
異人メヘシヤヨマシト呼ブメヘシ
日本ノ厥トイフガゴトク
洋ヨリ放ホ厥トヨブ
付ケ
○一 阿蘭陀ヨ先生ト云事ヲ
よし
○一 天竺ノ中ニヤタテ黒塚國
黒形ニテ青道直下ノ國ホテ黒色
ク縮髪ニテ蘭人ノ事
ホ事ヨリ
ハ

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1
ガラス使用

國食物もヤシヲノ實を合セ
八日本乃シ石に似しう堅く
男女ともに腰よりまとひ女の歌もひの刻
又を修ふ一種を襍國あり是も
ヤシヲノ實ヲ食ふ一人死ぬ時をみな
集りくらひをを食ふハレアヘし烟
仲のよろしきを以て交易すされども
を訪人住ふれ歸陸ぬぐ害ふ所ふ船
ふある故ふ救十人ふぐ
ようをまゝ害なしとも
耳鼻腕ふ環をもつくる
○一傳蔵去年ハワ國ふ
名ハ改ぐ無ふくも傳蔵ハえの名ふ筆
く悪ふ彼國の人筆しふ事
知いふふくもふ事を得ぐ故ふ
縛花ふ

○一或時諸国ふ免くハワ國へ上陸を其
節宮古島の三人ふ逢い彼國の紙
知ふ一耐いアメリカへ歸
の節ふてよう六年振
去年ハ郎来へ歸
ふ船ふの話ふ

○一筆功卿支右歸國
ふ金ふ俳へざ恵ハ

とまり　南亞墨利加の
をゝ地溫泉あり
ゟ溫泉ゟ溫り湧ゟ
人持海をゝ泉人
乞　乞　再び金山
國へ赴　傳兵衛等の
小船ゟ造　アメリカ國の
乞無私　琉球國
沖ゟ小船ゟ
琉球國ゟ
○一第二節ニイツヘルの
渡ゟ南アメリカ國ゟ
金山ゟ行
金
八ヶ國
高私
便
の
ニ人
帝

ゟ申ゟ右高私ゟ
ゟ事ゟ
ゟ　又
ゟを
○一
も
フ國に
○一万延
ヘル
ゟ
ゟ
ゟ

重文女子とも不便不存ぜ
御渡ぜ御国の心もち
なき悪敷の節なれ
とぜ今ふも恐
休まれ

○一ハ国と称持
ふも唯ひとり是ハ長崎三
ちもち女等
ちもち女持なり其内
世界ウツル鏡　世界ノ圖七枚
亜墨利加國三ヶ掘久金　書物數十巻
地理道具品々　衣類品々
鉄炮三挺
右之内長崎おゐて万事御渡し来

蒲團一　枕一　衣類弐ツ　鍋釜類
世界圖三枚
コンバツ
右之外荷物ハ
○一ハ国アメリカ国とも不
唯ありし味噌醤油なし
○一琉球國ハ薩州へ渡り
長崎ハ来ル時月代ぞ
○一長崎おゐて揚り屋入
ともゆるし
ぬどの時ハ
○一アメリカ国ハ日本ハ詩歌の

みく唱歌奇談を文化和解

卯の山坂よく来遊し

むとがだんを日く来る

おくうら沢はさ笑く

○一氏弘次郎八土佐領内の百姓乃将なり

今慶江戸より御召おふく土佐侯し足軽と

なり刑足軽五十人いづまも同行の

江戸表より新兵下る

安政二年乙卯二月晋公

上卿 林羽蟇桃宇写焉

862
1

国立国会図書館　　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

国立国会図書館　　タイトル『異国物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国物語』　請求記号 862-1

ガラス使用